

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**

(b)

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-239060

(43)Date of publication of application : 30.08.1994

(51)Int.Cl. B42D 11/00

(21)Application number : 05-047107

(71)Applicant : TORABERU DATA:KK

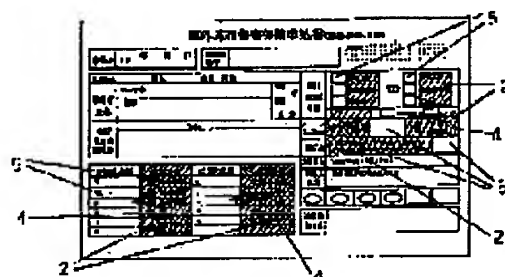
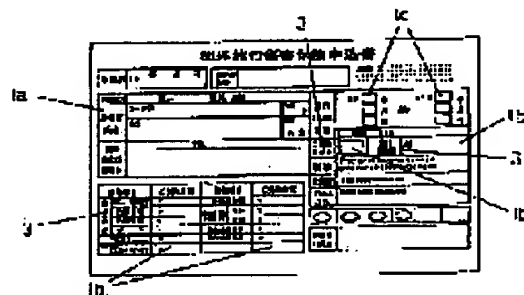
(22)Date of filing : 15.02.1993

(72)Inventor : MASUDA YORIATSU

(54) FORM DEVICE IN INSURANCE CONTRACT DOCUMENT PUBLISHING APPARATUS UTILIZING COMPUTER AND FORM USED THEREIN**(57)Abstract:**

PURPOSE: To conserve the labor in publishing business by processing the necessary min. data related to insurance content by a computer to mechanically print or copy the same on a form and entering data unrelated to operational function in a form to copy the same as it is by handwriting.

CONSTITUTION: In a form, for example, one set of a journey insurance form consisting of a large number of carbonless papers (A-paper-C-paper), a large number of necessary items are entered in the written application (A-paper) of travel insurance. A handwriting entry part copying a part 1a of the handwriting entry part of the written application and a region 2 making the copy of the residual part 1b thereof impossible are respectively set to the respective written application copies (B-paper, C-paper) for an insurance company or an agency. With respect to the item related to insurance content, the printing layouts of the cover index part 3 and handwriting entry part 1b of the written application are reversed and a reversal index part 4 is arranged to the set place of a copy impossible region 2. A mechanical printing entry part 5 is arranged to the part superposed on the cover index part 3.



(b)

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平 6 - 2 3 9 0 6 0

(43) 公開日 平成 6 年 (1994) 8 月 30 日

(51) Int. Cl. ⁵

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

B 4 2 D 11/00

P 8604 - 2 C

審査請求

有

請求項の数 4

F D

(全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平 5 - 47107

(22) 出願日 平成 5 年 (1993) 2 月 15 日

(71) 出願人 592262325

株式会社トラベルデータ

東京都渋谷区南平台町 4 番 8 号

(72) 発明者 増田 順厚

東京都渋谷区南平台町 4 番 8 号 株式会社ト

ラベルデータ内

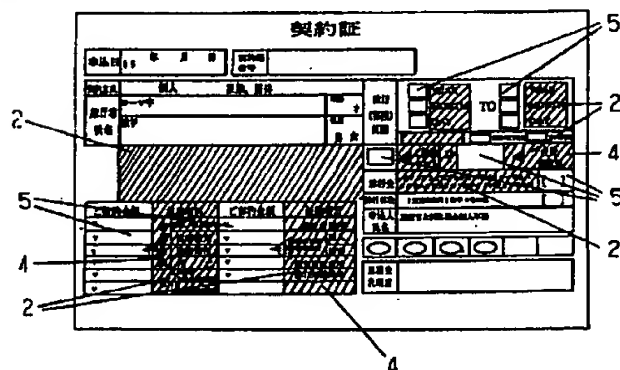
(74) 代理人 弁理士 西垣 康雄

(54) 【発明の名称】 コンピュータを利用した保険契約証発行装置における帳票システム並びに該帳票システムに使用される帳票

(57) 【要約】 (修正有)

【目的】 コンピュータによる入力項目を極力おさえ、顧客の待ち時間を減少させる。

【構成】 ノンカーボン複写紙の A 紙の書式中に、手書きにより記入する手書用記入部を設けるとともに、この A 紙と組となるノンカーボン複写紙の B 紙及び C 紙の前記 A 紙の手書用記入部が重なる個所の一部に複写不能領域を設定し、この複写不能領域に近接する個所に機械印字用記入部を設け、コンピュータ入力により処理された出力データを A 紙に機械印字し、B 紙及び C 紙の機械印字用記入部に複写させる。また、ノンカーボン複写紙の A 紙の書式中に、見出し部と該記入部を対応するように設けた場合には、B 紙及び C 紙においては A 紙の見出し部と記入部のレイアウトを反転させ、コンピュータ入力により処理された出力データを A 紙の見出し部に機械印字し、B 紙及び C 紙では同位置の機械印字用記入部に複写されるようにする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ノンカーボン複写紙のA紙の書式中に、手書きにより記入する手書用記入部を設けるとともに、このA紙と組となるノンカーボン複写紙のB紙およびC紙の前記A紙の手書用記入部が重なる個所の一部に複写不能領域を設定するとともに、この複写不能領域に近接する個所に機械印字用記入部を設け、よって、コンピュータ入力により処理された出力データをA紙に機械印字し、B紙およびC紙の機械印字用記入部に複写されるようにしたことを特徴とするコンピュータを利用した保険契約証発行装置における帳票システム。

【請求項2】 ノンカーボン複写紙のA紙の書式中に、見出し部と手書きにより記入する手書用記入部に対応するように設けるとともに、このA紙と組となるノンカーボン複写紙のB紙およびC紙の前記A紙の手書用記入部が重なる個所の一部に複写不能領域を設定するとともに、見出し部と記入部のレイアウトを反転させ、この複写不能領域に見出し部を、また、A紙の見出し部に重なる個所に機械印字用記入部を設け、これにより、コンピュータ入力により処理された出力データをA紙の見出し部に機械印字し、B紙およびC紙の機械印字用記入部に複写されるようにしたことを特徴とするコンピュータを利用した保険契約証発行装置における帳票システム。

【請求項3】 ノンカーボン複写紙のA紙の書式中に、手書きにより記入する手書用記入部を設けるとともに、このA紙と組となるノンカーボン複写紙のB紙およびC紙の前記A紙の手書用記入部が重なる個所の一部に複写不能領域を設定するとともに、この複写不能領域に近接する個所に機械印字用記入部を設け、よって、コンピュータ入力により処理された出力データをA紙に機械印字し、B紙およびC紙の機械印字用記入部に複写可能としてなる帳票。

【請求項4】 ノンカーボン複写紙のA紙の書式中に、見出し部と手書きにより記入する手書用記入部に対応するように設けるとともに、このA紙と組となるノンカーボン複写紙のB紙およびC紙の前記A紙の手書用記入部が重なる個所の一部に複写不能領域を設定するとともに、見出し部と記入部のレイアウトを反転させ、この複写不能領域に見出し部を、また、A紙の見出し部に重なる個所に機械印字用記入部を設け、これにより、コンピュータ入力により処理された出力データをA紙の見出し部に機械印字し、B紙およびC紙の機械印字用記入部に複写可能としてなる帳票。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は、コンピュータを利用した保険契約証発行装置における帳票システム並びに該帳票システムに使用される帳票に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従前から、例えば、旅行保険等について

は、火災保険や自動車保険と異なり、旅行者が旅行保険契約証を旅先にも携行したいという希望があるため、申込を引き受けた時点で保険契約証を発行する取り扱いを行なっている。このように、保険種目によっては、保険契約者が、保険を申し込みと同時に保険契約証の発行を望む場合があり、この希望に応えるべく、幾種類かの契約証発券システムが存在しているが、それぞれ一長一短を有している。そこで、前記の旅行保険を例にとって説明すると、まず、コンピュータを用いた旅行保険契約証発行装置により記入事項のすべてをキーボード入力する場合、入力項目が、旅行者氏名、保険契約セット、保険金額、年齢、性別、郵便番号、住所、電話番号、保険申込人氏名、保険期間、旅行先、旅行目的などといった夥しい数にのぼるため、入力処理に時間がかかり、契約証の発行まで客を待たせねばならなかった上に、頻繁に入力ミスが発生していたものである。また、コンピュータ装置を利用しない契約証発行の場合は、手書きにより契約証を作成することとなり、外観の見栄えが悪い上に、例えば旅行代理店が保険代理店を兼ねている場合など、旅行保険の申込書や契約証の発行のため、事務担当者は、各種の難しい契約規定をミスのないよう適用したり、あるいは、保険料算出のための複雑な計算を短時間でこなさなければならず、大きな負担となっていたものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、コンピュータを利用して保険申込書および保険契約証を発行する際に、一部に手書き部分を残し、コンピュータによる入力項目を極力おさえることにより、省力化を図るとともに、事務処理の迅速化を実現して、契約証発行までの顧客の待ち時間を減少させ、しかも、記載事項に間違いがなく、美観に優れた保険申込書および保険契約証を作成できる、コンピュータを利用した保険契約証発行装置における帳票システム並びに該帳票システムに使用される帳票を提供することをその目的とするものである。

【0004】

【問題を解決するための手段】 上記目的を達成するために、この発明に係るコンピュータを利用した保険契約証発行装置における帳票システムは、ノンカーボン複写紙のA紙の書式中に、手書きにより記入する手書用記入部を設けるとともに、このA紙と組となるノンカーボン複写紙のB紙およびC紙の前記A紙の手書用記入部が重なる個所の一部に複写不能領域を設定するとともに、この複写不能領域に近接する個所に機械印字用記入部を設け、よって、コンピュータ入力により処理された出力データをA紙に機械印字し、B紙およびC紙の機械印字用記入部に複写されるようにしたものである。そして、この発明に係る帳票システムは、ノンカーボン複写紙のA紙の書式中に、見出し部と手書きにより記入する手書用記入部に対応するように設けるとともに、このA紙と組

となるノンカーボン複写紙のB紙およびC紙の前記A紙の手書用記入部が重なる個所の一部に複写不能領域を設定するとともに、見出し部と記入部のレイアウトを反転させ、この複写不能領域に見出し部を、また、A紙の見出し部に重なる個所に機械印字用記入部を設け、これにより、コンピュータ入力により処理された出力データをA紙の見出し部に機械印字し、B紙およびC紙の機械印字用記入部に複写されるようにしてもよい。また、本発明に係るコンピュータを利用した保険契約証発行装置における帳票システムに使用される帳票は、ノンカーボン複写紙のA紙の書式中に、手書きにより記入する手書用記入部を設けるとともに、このA紙と組となるノンカーボン複写紙のB紙およびC紙の前記A紙の手書用記入部が重なる個所の一部に複写不能領域を設定するとともに、この複写不能領域に近接する個所に機械印字用記入部を設け、よって、コンピュータ入力により処理された出力データをA紙に機械印字し、B紙およびC紙の機械印字用記入部に複写可能としたものである。そして、本発明に係る帳票は、ノンカーボン複写紙のA紙の書式中に、見出し部と手書きにより記入する手書用記入部を対応するように設けるとともに、このA紙と組となるノンカーボン複写紙のB紙およびC紙の前記A紙の手書用記入部が重なる個所の一部に複写不能領域を設定するとともに、見出し部と記入部のレイアウトを反転させ、この複写不能領域に見出し部を、また、A紙の見出し部に重なる個所に機械印字用記入部を設け、これにより、コンピュータ入力により処理された出力データをA紙の見出し部に機械印字し、B紙およびC紙の機械印字用記入部に複写可能としてもよい。

【0005】

【作用】保険契約証の発行に当って、まず、申込人などに、A紙の書式中に設けた手書用記入部に、手書きにより必要事項を記入させる。上記したように、B紙およびC紙の一部には複写不能領域を設定したから、A紙の手書用記入部に手書きされた事項は、B紙およびC紙に複写不能領域が設定されている個所については複写されず、また、それ以外の複写不能領域が設定されていない個所については、そのまま複写されることとなる。次に、A紙の書式中に見出し部と手書きにより記入する手書用記入部を対応するように設けた場合、まず、申込人などに、A紙の書式中に設けた手書用記入部に、手書きにより必要事項を記入させると、上記したように、B紙およびC紙の一部には複写不能領域を設定したから、A紙の手書用記入部に手書きされた事項は、B紙およびC紙に複写不能領域が設定されている個所については複写されず、また、それ以外の複写不能領域が設定されていない個所については、そのまま複写される。ここで、A紙の書式中に対応するように設けた見出し部と記入部については、B紙およびC紙においては、印刷レイアウトを反転させ、見出し部を複写不能領域が設定されている個

所に、また、機械印字用記入部をA紙の見出し部に相当する個所にそれぞれ設け、これにより、コンピュータに入力され、処理された出力データがA紙の見出し部に機械印字されると、B紙およびC紙の機械印字記入部にきれいに複写されることとなる。この場合、上記のように、A紙の見出し部というプレプリントされた部分に印字の重ね打ちが発生するが、A紙は発行側の内部資料であるから支障はない。

【0006】

- 10 【実施例】以下、本発明に係るコンピュータを利用した保険契約証発行装置における帳票システム並びに該帳票システムに使用される帳票を、旅行保険について適用した実施例により説明する。図1～図5は、ノンカーボン複写紙A紙～C紙よりなる1組の旅行保険帳票を示している。図1はA紙に相当する旅行保険の申込書であり、契約申込人などに、旅行者氏名、年齢、性別、郵便番号、住所、電話番号、旅行（保険）期間、保険契約セット、保険金額、旅行先、保険申込人氏名、旅行目的などの契約証の発行に必要な事項を記入させるためのものである。図2は保険会社用申込書控（B紙）、図3は代理店用申込書控（B紙）であって、これらの控においては、申込書（A紙）に設けられた手書記入部のうち、旅行者氏名、年齢、性別、郵便番号、住所、電話番号、保険申込人氏名についての手書用記入部1aに手書きされた事項はそのまま複写されるが、その他の手書用記入部が重なる個所については、薬品処理により複写不能領域が（説明の便宜上、斜線で示す。）設定され、保険契約セット、保険金額については、申込書の表紙見出し部3と手書用記入部1bの印刷レイアウトを反転させ、前記複写不能領域2が設定されている個所に反転見出し部4を、また、表紙見出し部3に重なる個所に機械印字用記入部5を設け、さらに、申込書の年月日、旅行先についての手書用記入部1cに近接する個所にも、機械印字用記入部5を設けている。図4は契約証（写）・領収証（B紙）、図5は契約証（C紙）であり、A紙に設けられた郵便番号、住所、電話番号についての手書用記入部1aが重なる個所を複写不能領域2とし、余白としている。それ以外については前記申込書控と同じ構成となっている。したがって、契約申込人が申込書に手書きにより必要事項を記入すると、旅行者氏名、年齢、性別などについては、申込書（A紙）の手書用記入部に手書きされた事項が、そのまま申込書控、契約証（写）・領収証に複写される一方、コンピュータにより保険料計算書と保険契約規定との整合性を判断するための必要最小限のデータである、旅行（保険）期間、保険契約セット、保険金額、旅行先などについては、コンピュータに入力され、そのデータが出力されて申込書（A紙）に機械印字され、申込書控、契約証（写）・領収証、契約証に新しく設けられた機械印字用記入部に複写されることとなる。また同時に、コンピュータのカレンダー機能により自動的に

契約証発行日が出力され、契約証番号もコンピュータにより自動生成される。この場合、この実施例においては、キー入力に時間がかかったり、あるいは、コンピュータの演算機能に関係のない個所については、前記申込書（A紙）に設けた記入部に記入した手書き文字を、そのままB紙およびC紙に複写させ、また、少なくともコンピュータによる演算処理が必要な個所については、コンピュータ入力により処理をしてからA紙に機械印字し、B紙およびC紙に複写させるようにしている。図6～図10は、実際に作成された申込書、申込書控、契約証（写）・領収証、契約証契約証をそれぞれ示している。尚、上記実施例においては、本発明を旅行保険を例にとって説明したが、保険の種類については限定されないことは勿論である。

【0007】

【発明の効果】以上に述べたように、本発明に係るコンピュータを利用した保険契約証発行装置における帳票システム並びに該帳票システムに使用される帳票によれば、コンピュータを利用して保険申込書や保険契約証を発行する際に、保険料計算書と保険契約規定との整合性チェックのための必要最小限のデータについては、コンピュータ入力により処理をしてからA紙に機械印字し、B紙およびC紙に複写するようにし、その他のキー入力に時間がかかったり、あるいは、コンピュータの演算機能に関係のないデータについては、A紙に設けた記入部に記入した手書き文字をそのままB紙およびC紙に複写するようにしたから、コンピュータ入力のための時間を著しく削減できる顕著な効果が得られ、これにより、申込書や契約証の発行事務の省力化、迅速化が実現して、保険申込書や保険契約証発行までの顧客の待ち時間を減少させ、顧客サービスを充実させるとともに、記載事項に

【図1】

間違いがなく、手書き部分とコンピュータ出力部分が重複しない美観に優れた保険申込書や保険契約証を客に渡すことができるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】旅行保険申込書（A紙）を示す説明図である。

【図2】保険会社用申込書控（B紙）を示す説明図である。

【図3】保険代理店用申込書控（B紙）を示す説明図である。

10 【図4】契約証（写）・領収証（B紙）を示す説明図である。

【図5】契約証（C紙）を示す説明図である。

【図6】実際に記入された旅行保険申込書（A紙）を示す説明図である。

【図7】実際に作成された保険会社用申込書控（B紙）を示す説明図である。

【図8】実際に作成された保険代理店用申込書控（B紙）を示す説明図である。

20 【図9】実際に作成された契約証（写）・領収証（B紙）を示す説明図である。

【図10】実際に作成された契約証（C紙）を示す説明図である。

【符号の説明】

- 1a 手書用記入部
- 1b 手書用記入部
- 1c 手書用記入部
- 2 複写不能領域
- 3 表紙見出し部
- 4 反転見出し部
- 30 5 機械印字用記入部

【図2】

【図3】

【図4】

【図5】

【図6】

【図7】

【図8】

【図9】

【図10】